

市電フォーラムの開催について

近年、路面電車は、海外や国内の多くの都市でも、環境に優しいことなどから、その良さが見直されております。

しかし、一方で、本市の市電については、利用者数の減少などによる経営面の悪化や、車両・施設の老朽化の進行など、その事業の存続は非常に厳しい状況にあります。

今後、本市の路面電車事業の存続・廃止について、将来を見据えながら、どのようにあれば良いのかを市民のみなさんと一緒に考えていきたいと思ひます。

そこで、市電フォーラム「みんなで考えよう路面電車のこれから」を全3回の予定で開催いたします。

第1回目は、「市電の現状と路面電車の将来」と題し、市電が札幌のまちづくりに果たしてきた役割を振り返りつつ、厳しい現状と存廃の課題についてご紹介するとともに、路面電車の再生に取り組んでいる全国の事例を交えて考えます。

- 1 テーマ 仮)市電の現状と路面電車の将来
- 2 日時 平成16年8月31日(火)午後6時30分～9時
- 3 会場 札幌すみれホテル(中央区北1西2)
- 4 プログラム

(1) 市電の過去といま

【フリートーク】

北海学園大学法学部助教授 樽見 弘紀 氏
広島電鉄株式会社常務取締役 電車加パニプレゼン
(全国路面軌道連絡協議会 専務理事) 中尾 正俊 氏
札幌市企画調整局総合交通計画部長 高宮 則夫

話題1 市電の歴史 まちづくりを支えた市電

話題2 市電の現状 厳しい経営状況

話題3 市電の存廃の課題 経営の効率化と費用負担

(2) 路面電車の再生と可能性

【基調講演】

広島電鉄株式会社常務取締役 電車加パニプレゼン
(全国路面軌道連絡協議会 専務理事) 中尾 正俊 氏

(3) 存廃問題の克服に向けて ～路面電車再生戦略の視点～

【ディスカッション】

樽見 弘紀 氏, 中尾 正俊 氏, 高宮 則夫

(4) 参加者とのディスカッション

テーマ・プログラムの内容・順序については、今後詳細に詰める予定です。

- 5 申し込み 参加希望者は8月20日(金)までに、住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、はがき、ファクス、Eメールでお申し込みください。
参加定員(200人程度)を超えた場合は抽選を行いますので、ご了承ください。参加無料。

申し込み先

札幌市 交通企画課 (〒060-8611 札幌市中央区北1西2)
ファクス 218-5114
電子メール sogokotsu1@city.sapporo.jp

- 6 今後の予定 第2回(平成16年11月頃予定)
「市電の存廃問題を考える」

第3回(平成17年3月頃予定)
「市電の存廃の方向性について」

【問い合わせ先】

企画調整局交通企画課

211-2492